

## 生活行動

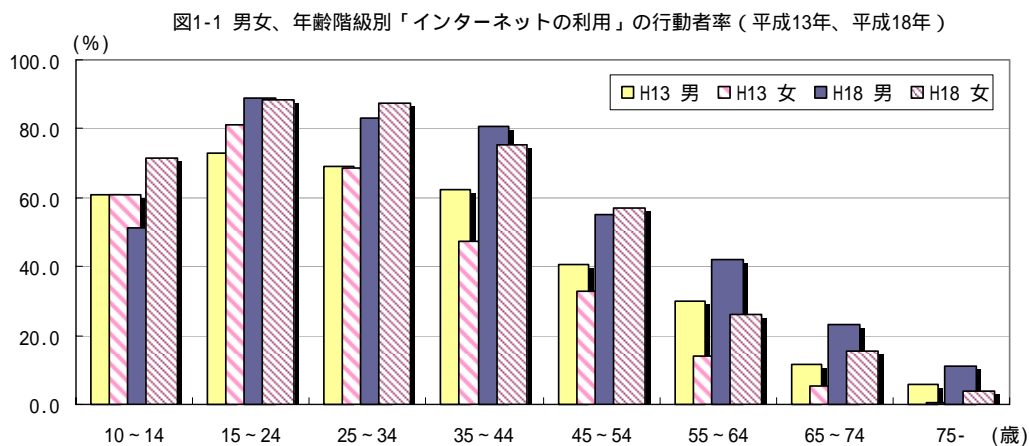
### 1 インターネット利用者は116万9千人，行動者率は55.7%

#### (1) 男性の58.7%，女性の52.8%の人が「インターネット」を利用

過去1年間（平成17年10月20日～18年10月19日）に「インターネット」を利用した人は116万9千人で，10歳以上人口に占める割合（行動者率）は55.7%となっている。これは，仕事や学業での利用も含めた平成13年（44.2%）と比較しても11.5ポイント上昇している。全国と比較すると，3.7ポイント下回っている。

行動者率を男女別にみると，男性は58.7%（行動者数59万8千人），女性は52.8%（同57万2千人）となっており，男性が女性より5.9ポイント高くなっている。

「インターネットの利用」の行動者率を年齢階級別にみると，男女とも15～24歳代が最も高くなっている。



注)

平成13年は仕事や学業での利用も含んでいるが、平成18年には含まれていない。

#### (2) 行動者率のトップは「電子メール」の46.8%

10歳以上人口の「インターネットの利用」の行動者率を種類別にみると，「電子メール」が46.8%（行動者数98万4千人），「情報検索及びニュース等の情報入手」が38.1%（同80万人），「画像・動画・音楽データ，ソフトウェアの入手」が26.2%（同55万人），「商品やサービスの予約・購入，支払いなどの利用」が19.7%（同41万4千人）などとなっている。

これを男女別にみると，男性がすべての種類で女性より高くなっている。

全国と比較すると，「掲示板・チャット（12.3%）」，「ホームページ、ブログの開設・更新（7.2%）」以外は全国を下回っている。

図1-2 男女、「インターネットの利用」の種類別行動者率（平成18年）

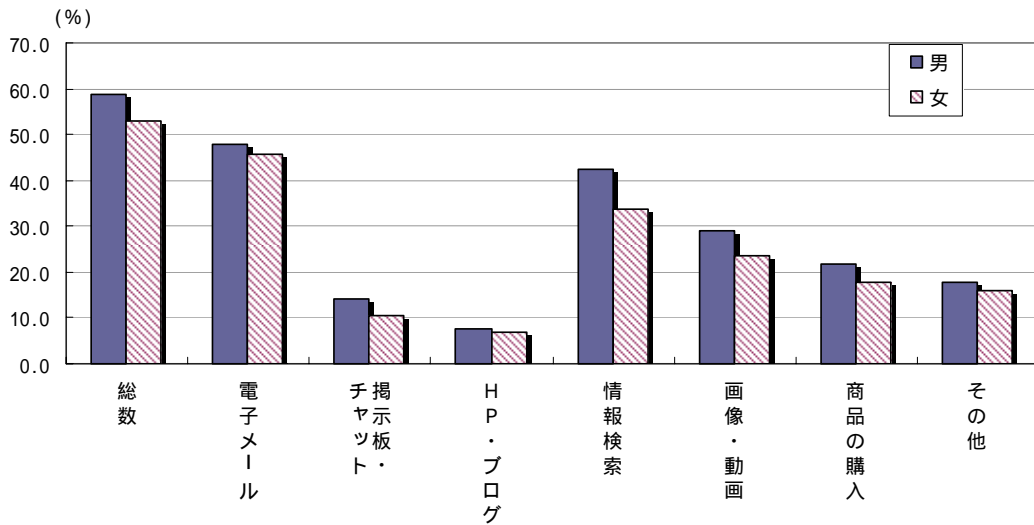
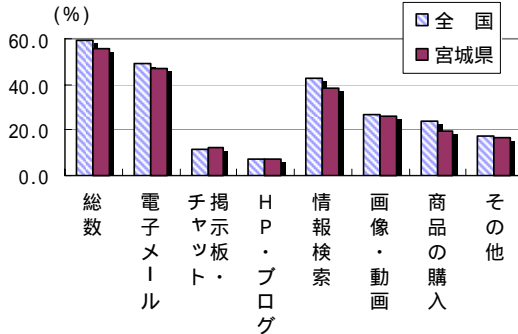


図1-3 男女、「インターネットの利用」の種類別行動者率（平成18年）



注)

HP・ブログ：ホームページ、ブログの開設・更新  
 情報検索：情報検索及びニュース等の情報入手  
 画像・動画：画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手  
 商品の購入：商品やサービスの予約・購入、支払い等の利用

## 2 学習・研究

### (1) 1年間に「学習・研究」を行った人は68万4千人、行動者率は32.6%

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は68万4千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は32.6%となっている。行動者率を平成13年と比較すると2.2ポイント低下している。全国と比較すると、2.6ポイント下回っている。

行動者率を男女別にみると、男性は33.3%（行動者数33万9千人）、女性は31.8%（34万5千人）で、男性が1.5ポイント高くなっている。これを平成13年と比較すると、男性は1.1ポイント、女性は3.3ポイントそれぞれ低下している。

### (2) 男性は「パソコンなどの情報処理」、女性は「家政・家事」の行動者率が高い

「学習・研究」を行った人の種類別行動者率を男女別にみると、男性は、「パソコンなどの情報処理」が15.5%（行動者数15万7千人）と最も多く、次いで「人文・社会・自然科学」が11.3%（同11万5千人）、「商業実務・ビジネス関係」が9.7%（同9万8千人）、「英語」が8.2%（同8万4千人）などとなっている。

一方、女性は「家政・家事」が13.3%(同14万4千人)と最も多く、次いで「芸術・文化」が10.7%(同11万6千人)、「パソコンなどの情報処理」が8.5%(同9万2千人)、「英語」が7.4%(同8万人)などとなっている。

全国と比較すると、「人文・社会・自然科学」「パソコンなどの情報処理」以外は全国を下回っている。

図2-1 男女、「学習・研究」の種類別行動者率(平成18年)

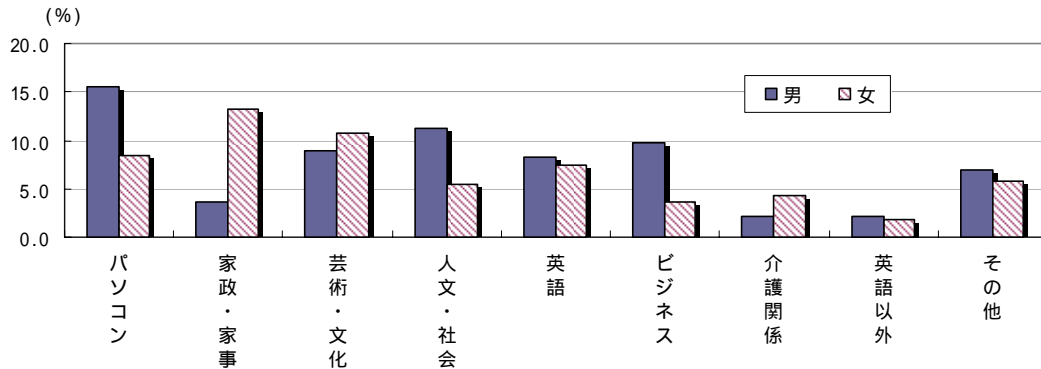
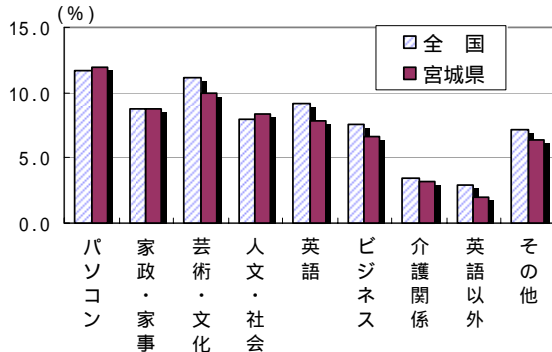


図2-2 「学習・研究」の種類別行動者率(平成18年)



注)

パソコン：パソコンなどの情報処理  
 家政・家事：家政・家事(料理,裁縫,家庭経営など)  
 人文・社会：人文・社会・自然科学(歴史,経済,数学,生物など)  
 ビジネス：商業実務・ビジネス関係  
 英語以外：英語以外の外国語

### 3 スポーツ

#### (1) 1年間に「スポーツ」を行った人は134万2千人,行動者率は63.9%

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は134万2千人で,10歳以上人口に占める割合(行動者率)は63.9%となっている。行動者率を平成13年と比較すると5.4ポイント低下している。全国と比較すると,1.4ポイント下回っている。

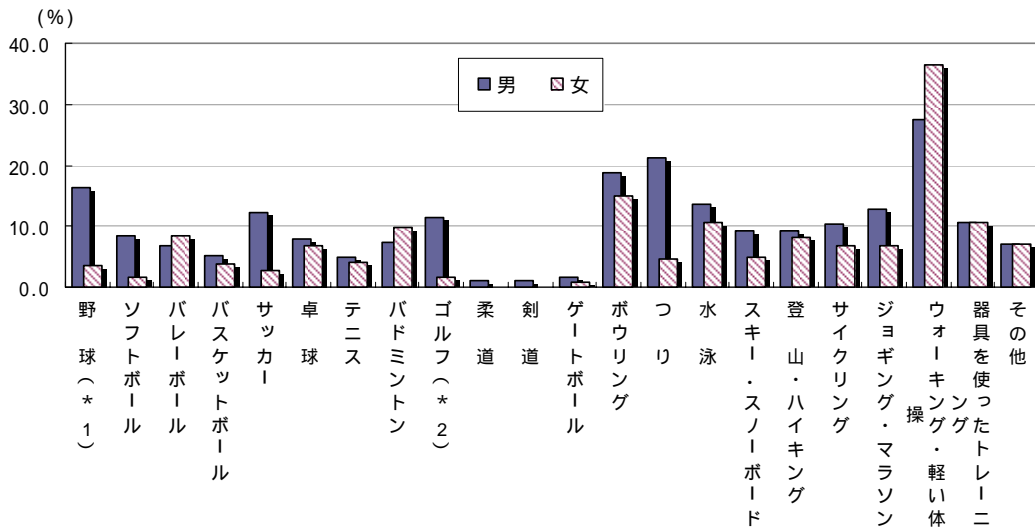
行動者率を男女別にみると,男性は69.3%(行動者数70万5千人),女性は58.8%(同63万7千人)で,男性が女性より10.5ポイント高くなっている。これを平成13年と比較すると,男性は7.1ポイント,女性は3.7ポイントそれぞれ低下している。

## (2) 行動者率が高い「ウォーキング・軽い体操」

「スポーツ」の種類別行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が32.2%(行動者数67万6千人)と最も高く、次いで「ボウリング」が16.8%(同35万2千人)となっている。

これを男女別にみると、男女共に「ウォーキング・軽い体操」(男性27.5%,女性36.5%)が最も高く、次いで男性は「つり(21.3%)」「ボウリング(18.7%)」「水泳(13.6%)」、女性は「ボウリング(15.0%)」「水泳(10.6%)」「器具を使ったトレーニング(10.6%)」などとなっている。

図3 男女、「スポーツ」の種類別行動者率(平成18年)



注)

- 1 キャッチボールを含む
- 2 練習場を含む

## 4 趣味・娯楽

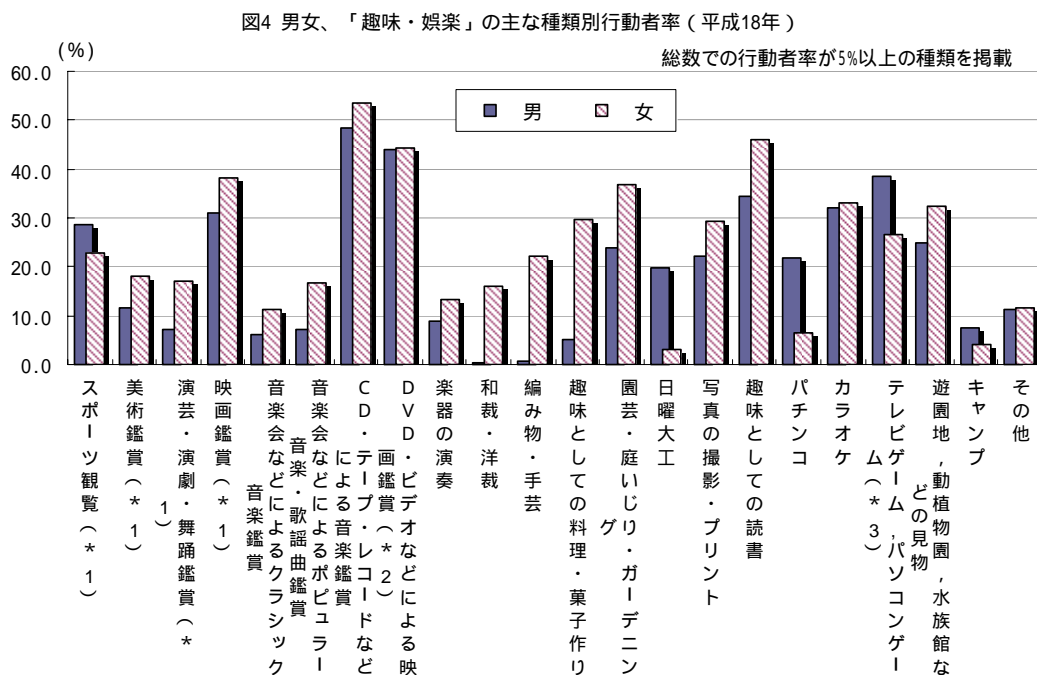
### (1) 1年間に「趣味・娯楽」を行った人は約178万1千人、行動者率は84.8%

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は178万1千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率)は84.8%となっている。行動者率を平成13年と比較すると、0.2ポイント低下している。全国と比較すると、0.1ポイント下回っている。

行動者率を男女別にみると、男性は84.6%(行動者数86万1千人)、女性は85.0%(同92万1千人)で、女性が男性より0.4ポイント高くなっている。これを平成13年と比較すると、男性は0.9ポイント上昇し、女性は1.3ポイント低下している。

### (2) 行動者率が高い「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」

「趣味・娯楽」の種類別に行動者率をみると、男女とも「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」(男性48.5%、女性53.5%)が最も高く、次いで男性は「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(43.9%)」、 「趣味としての読書(34.4%)」、女性は「趣味としての読書(46.1%)」「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(44.4%)」となっている。



注)

- 1 テレビ・DVDなどは除く
- 2 テレビからの録画は除く
- 3 家庭で行うもの。携帯用を含む

## 5 ボランティア活動

### (1) 1年間に「ボランティア活動」を行った人は約63万4千人，行動者率は30.2%

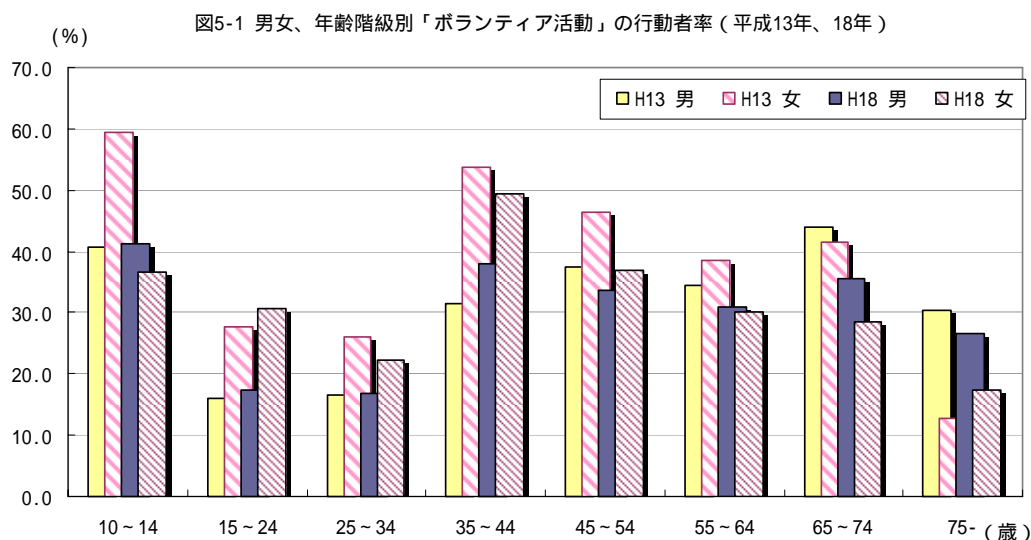
過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は63万4千人で，10歳以上人口に占める割合（行動者率）は30.2%となっている。行動者率を平成13年と比較すると，3.6ポイント低下している。全国と比較すると，4.0ポイント上回っている。

行動者率を男女別にみると，男性は29.0%（行動者数29万5千人），女性は31.3%（同33万9千人）で，女性が2.3ポイント高くなっている。これを平成13年と比較すると，男性は0.8ポイント，女性は6.3ポイント，それぞれ低下している。

### (2) 35～44歳で最も高い「ボランティア活動」の行動者率

「ボランティア活動」の行動者率を年齢階級別にみると，35～44歳が43.8%と最も高く，次いで10～14歳が39.0%，45～54歳が35.4%などとなっているが，25～34歳は19.5%と最も低くなっている。

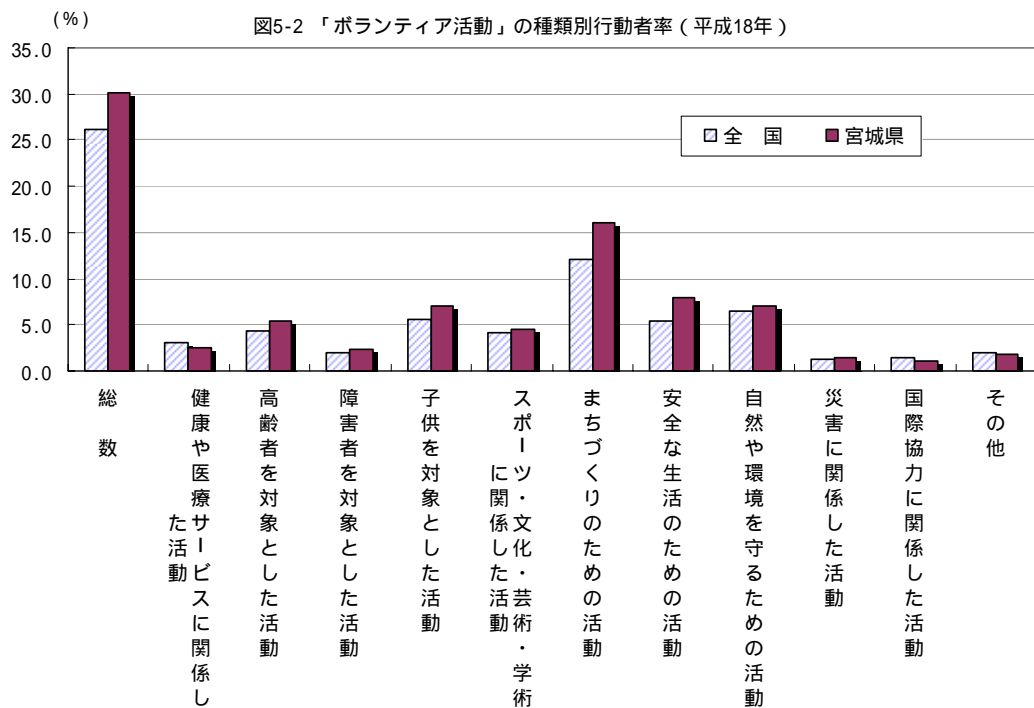
これを男女別にみると，男性は10～14歳が41.3%と最も高く，次いで35～44歳が38.1%となっている。女性は35～44歳が49.5%と最も高く，次いで45～54歳が37.0%となっている。15～54歳までは，女性が男性より高くなっている。



### (3) 行動者率が最も高いのは「まちづくりのための活動」

「ボランティア活動」の行動者率を種類別にみると，「まちづくりのための活動」が16.1%と最も高く，次いで「安全な生活のための活動」が8.0%，「自然や環境を守るための活動」及び「子供を対象とした活動」が7.0%などとなっている。

これを全国と比較すると、「健康や医療サービスに関係した活動」及び「国際協力に関係した活動」以外はすべて全国を上回っている。



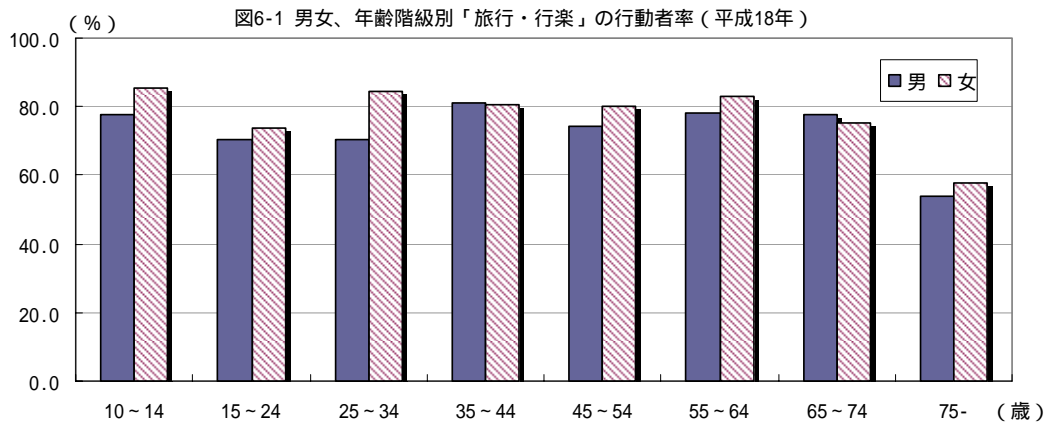
## 6 旅行・行楽

### (1) 1年間に「旅行・行楽」を行った人は159万人、行動者率は75.7%

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は159万人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は75.7%となっている。行動者率を平成13年と比較すると4.1ポイント低下している。全国と比較すると、0.5ポイント下回っている。

行動者率を男女別にみると、男性は73.7%（行動者数75万人）、女性は77.6%（同84万1千人）で、女性が3.9ポイント高くなっている。これを平成13年と比較すると、男性は6.2ポイント、女性は2.1ポイント、それぞれ低下している。

「旅行・行楽」の行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が81.5%と最も高く、次いで35～44歳が80.9%、55～64歳が80.7%となっている。平成13年と比較すると、65歳以上を除いて、すべての年齢階級で低下している。



### (3) 「観光旅行（海外）」の行動者率は、55～64歳の女性が最も高い

「観光旅行」の行動者率を国内・海外別にみると、国内の「観光旅行」は男性が47.5%、女性が52.7%、海外の「観光旅行」は男性が5.1%、女性が5.2%と、いずれも女性が男性より高くなっている。

これを、年齢階級別にみると、国内の「観光旅行」では、10～14歳の女性が67.9%と最も高く、75歳以上を除いてはいずれも女性が男性より高くなっている。また、海外の「観光旅行」では、55～64歳の女性が7.9%と最も高く、次いで25～34歳、65～74歳の男性が7.4%となっている。

